

御宿台

Onjukudai-ku News

2002 春号

No. 8

8

区運営委員会編集・平成14年4月1日発行



『カタクリ』

“山野に群生して咲く カタクリの花一輪”

写真と文：松田辰秀 (112-08)

米国に嫁した娘が住むキャニオンレーク市は、ロサンゼルスから南へ2時間ほど、名の通り湖を中心に開発された人口12,000名の町です。

砂漠を開発して出来たこの町は、二箇所のゲートに設けられた警備所により、出入りが厳しくチェックされています。予め登録した車両以外は通過できません。町中の警備は、拳銃を携帯した民間のガードマンにより行われ、車両のスピード違反の摘発も厳しく行われております。

これらの運営は住民により選出された5名の委員(町議)により行われ、会議は夜、下記センターの会議室で開かれその様子は有線テレビにより各戸に送信されます。歳費は極めてわずかです。消防署もありますが、救急業務は民間業者の担当で病院はありません。

湖の近くに大きなセンターが設けられ、住民の為のサービス業務や軽食の提供懇談の為のサロンが設けられ、隣接するハーバーにはスピードボートが多数係留され、休日には早朝から多くの住民が、水上スキーやクルージングを楽しんで居ります。団地の中では一切の商行為は行われておりませんが、ゲートを

出たすぐ前にはショッピングセンターがあり、必要な品物は殆どここで賄えます。この他に食事の出来るクラブ、テニスコート、乗馬クラブ、二面の整備された野球場、釣り場、18ホールゴルフ場、練習場等殆ど全ての施設が完備されており、安い価格で住民に提供され夫々のコーチは住民の人たちです。

イースターの子供たちへの贈り物は卵拾いです。この行事はゴルフクラブの人たちのボランティアで、着色されたボールが草むらに撒かれます。バスケットを手に集まった子供たちは、大騒ぎをしてボールを集めて景品交換所に来ます。景品は、鉛筆やその他の簡単なものですが、集めた数や色に関係なく皆同じように受け取って大喜びで親に見せております。

この他にもボランティアによる各種レッスン、クリスマスのデコレーションコンテスト、独立記念日の花火、バザー等々。

ここ御宿台も住民参加のこの様な催し物が、年々盛んになってきました。

先進国において行われている事が、必ず数年遅れて導入されます。それを先取りして住民主導で実行する所に、この町の発展があると感じます。

(323-02 月岡 一郎)

御宿台区の動き

区運営委員会から

平成13年度年次総会開催される

平成13年度の御宿台区年次総会が、3月23日(土)、午後1時30分から3時50分まで、御宿町役場大会議室で開催されました。運営委員会からの13年度の活動報告、会計報告、14年度の課題についての説明、運営委員の改選がおこなわれました。詳細は添付資料(挿入版)をご参照ください。



議事進行中・・・

管理規則についての説明会開催

昨年3月に改定された御宿台利用者管理規則は、その運用に関して、利用者との間に若干の検討事項を残して発効しました。西武不動産販売では、去る2月9日と3月16日に利用者との「意見交換会」を開催、西武不動産から西武鉄道への事業主体の変更、それに伴う西武不動産販売への管理業務の委託、管理規則の改定経緯、運用などについて説明しました。西武では、今後さらにこの問題について利用者との意見を交わしながら理解を求めていく方針です。維持管理費については、5月中を目処に、13年度の実績および14年度の予算が利用者側に提示される予定です。

詠むいろいろ

音もなく 露座仏濡らす 春の雨
川名 武男

春眠や 秘佛のお厨子 まだ開かず
石坂 貞

春の雨 いとこ同士の 恋菜
山路 辰男

覚めやらぬ 妻の春眠 ゆるしをり
齊藤 武

帰る娘に 持たせてやりぬ 雛あられ
霜田 ノブ

(ラビドール御宿俳句同好会)

お知らせ

循環バスの 継続運行について

7月以降の循環バス運行については、長期的には運行主体、費用負担、行政支援など流動的な要素がありますが、これを必要とされる方々の強い期待に添うべく、当面は現状どおりの運行ができるように西武側と折衝を継続中です。

中央公園調整池に「禁止」立札

中央広場に接する調整池の自然保護と安全管理を徹底するために、町からの資金援助を得て、「釣り・水遊び禁止」の立札を設置しました。同区域へのアクセスとなる4ヶ所に、周囲の環境に配慮したデザインの立札が立てられました。



中央広場から池を望む

進むコミュニティセンター工事

増改築中の集会場は、5月の中旬頃までには工事が完了する予定です。広い多目的ホールや小会議室、厨房設備を備えており、バリアフリーの配慮も施されて、新しいコミュニティセンターとして住民の方々による活用が期待されます。

お願い

皆様のご家庭で、ご利用にならない、未使用若しくは比較的新しい食器セットなどがありましたら、コミュニティセンターに御提供願えませんか。(皿、カップ、フォーク、ナイフ、グラス、等。)なお、本件に関するお問合せ、ご連絡は運営委員(鈴木:210-13または水本:313-02)までお願いします。

御宿台の四季

[キブシ]

桜に見とれて、気がつかない樹にキブシがあります。

12月頃から枝先にふくらみを並べ、目立たない準備が進んでいます。2月に入って、「桜のつぼみもふくらんできたナ」と明るい気持ちになったとき、キブシも立派に準備が終わっています。

4月、桜に合わせて背景を作ります。淡黄色の花を房状に垂らし(5~10cm)、房の長いのがハチジョウキブシと言いつても賑やか。秋、紅葉の時期、常緑の森を地味な褐黄色で飾っています。サルトリイバラの紅葉との対比が見事です。(小田 哲夫 220-06)



情報

3月1日現在

御宿台開発状況

売却済分譲地: 1,029区画 建築中: 15戸
建築戸数: 641戸 定住届出: 266戸

乗合タクシーの利用

12月/426人 1月/373人 2月/356人
冬季病虫害消毒: 145戸(区運営委員会幹旋)

「正岡子規の春やすみ」



～房総はすみれ、たんぽぽ、つくづくし～



正岡子規は明治24年3月25日から4月2日にかけて、房総半島を縦断する8泊9日の春の行脚を楽しんだ。今から112年前のことだった。

この時、子規は東京大学にあって25歳であった。この旅を思い立ったのにはわけがある。そのひとつは、子規と同級生で親友でもあった夏目漱石から紀行文『木屑録』^{ぼくせつろく}をみせられたからである。これは漱石がこの2年前に房総を行脚したときのもので、そこには房総の魅力があふれていた。『木屑録』をみて子規は旅ごころをくすぐられたのである。お返しとして、子規はこの房総旅行のようすを紀行日記にまとめ漱石にみせようと心に決めていた。そして、愛読書の『南総里見八犬伝』の舞台に足を踏み入れてみたいという衝動にかられていたことも旅の目的のひとつだった。

子規の行程は、東京―市川―成田―千葉―大多喜―安房小湊―白浜―館山―保田であった。保田からは船で帰京した。当時、千葉県にはまだ鉄道が敷かれていなかったからである。全行程およそ250キロメートル。1日に歩く距離はほぼ30キロメートル。これは朝から晩まで、てくてくと歩き続けるということである。歩数として約50万歩。

大多喜に向かう途中で雨に降られた子規は長南で蓑を求めた。菅笠をかぶり、蓑をつけた旅姿が大いに気に入った。この蓑を大切に持ち帰った子規は生涯ずっと書斎にかけていた。折にふれて房総行脚を思い出しては、俳句や短歌により随筆に登場させた。

近代俳句といえば正岡子規、子規といえば「柿くえば…」であるが、明治24年3月の頃は、俳句にやや手ごたえを感じて、眼が開かれる直前であった。この旅での句作に「鶯や山をいづれば誕生寺」があるが、大勢はまだまだ月並俳句の渦中にあった。その後、房総の地名をよみ込んだ俳句をたくさんつくっている。楽しかった房総の旅がつねに脳裏にあったのだろう。残念ながら御宿の句はない。

子規はこの春の房総行脚を『隠蓑日記』、『かくれみの句集』にまとめて漱石にみせたのである。その中には、菜の花畑で野ぐそをしたこと、混浴の銭湯で美人に目をうばわれたこと、“くさや”がくさくて食えなかったこと、ひとり旅ゆえにいつも宿をとりはずしたことなどが綴られている。

ともかく、春まっさかりで、すみれ、たんぽぽ、菜の花、青い海の房総は印象深いものとなった。房総の人たちは誰もが優しく、素朴

でいい人ばかりであったとしめくくっている。

子規の歩いた道を「かくれみの街道」と名付けて平成の今、この道の子規と同行二人としゃれて歩いている。この3月末、鋸山のふもとである保田に到着する予定である。(御宿・風の会 関 宏夫)

「私のウォーキング」



立春が過ぎたとはいえ、2月の朝はまだまだ風が冷たい。7時に家を出る。「毎朝欠かさず御宿台まで往復しているんだよ」という友人に刺激されて、私もせめて週一回位は健康維持の為に始めたウォーキングだったが、何時の間にか四季折々移ろいゆく景色の変化を楽しんだり、勝手な思索に耽ったり、のんびりした『散策』に変質してしまった。

ようやく明け切ろうとして、海と空とが一線を描き、次第に輝きを増してくる網代湾を横目に見ながら、月の沙漠記念館・須賀交差点を経て、砂田架道橋をくぐると程なく御宿台へ向かうなだらかな上り坂にさしかかる。心密かに命名した『クスの木坂』だ。時には自分の体力を測るために脇目もふらず精一杯の速さで登ってみたり、時には過ぎ去った67年の歳月を振り返ってみたり、又時には路傍に直立して迎えてくれる南国生まれののっぽ椰子を見上げてみたり、その時その時の気分の赴くままに越えていく時間帯である。

『クスの木坂』を登り切って、ようやく全身が心地よく汗ばむ頃、目の前に山ふところを抱かれたように光と風の街西武グリーンタウンが展開してくる。

閑静で平和、まさに自然と人間が共生している理想的な空間が、私の心を芯から和ませてくれる。私は、芽吹きを待ちわびている芝生の原に一人立って深く深く呼吸を繰り返す。新鮮な冷気がすべての細胞にゆき渡るように。そして、この美しい自然を共有させて戴いている事に感謝しながら。

グリーンタウンは『山茶花の里』だ。刈り揃えた生け垣に山茶花の緑と花の紅が朝日に照らされて柔らかく輝く風情が、日本美の典型『わび・さび』の世界を私に連想させてくれるのだ。

ひと巡りして帰路につく。往復一時間。約八千歩。そうだ！この御宿台へのウォーキングコースを京都の散策の名所にぞらえて私も『哲学の道』と呼ぶことにしよう。 新町在住 岩村 實

最高級そばと地酒の店
そば処
竹むら
☎68-8888
くつろぎの館
創作料理
宗苑
☎68-8887

海
御菓子司
海月堂
製造発売元
御宿町須賀572
☎68-2345

1人前より 出前迅速
うぶぎ 鶴丸
高山田 高校前通
☎68-4867

ペンション・中華レストラン
チャイナ
御宿台出前OK!!
☎68-2920
ニクニレ

本格手打の店
本物は国産石臼碾
きんぎょ
上布施
☎68-5220

◆「恋人」に会いに…

さあ次はいつ「恋人」に会いにこれるかな…日曜日の昼頃いつも後ろ髪を引かれる思いで埼玉県狭山市の自宅經由単身赴任先の宇都宮へ戻るライフスタイルが月2回ほど始まりました。

昨年4月21日に入居以来御宿という新たな「恋人」が出来、私たち夫婦にとっては思いもよらぬ別荘生活を体験することになり1年が経過しました。予定では2年後に、俗に言う第二の人生が御宿で始まります。何故御宿なのか…と女房をはじめ兄弟、友人からよく言われます。

定年後は何に生き甲斐を…と聞かれても、そんな事考えたことありません。私は「生き甲斐よりも居甲斐が大事」と思っています。定年で会社を離れると、何かを「する」より何もしないで「いる」ことの方が圧倒的に多い。「いる」ことに意義を見出す。つまり「居甲斐」のための居場所を御宿と決めた訳です。

心地よい居場所御宿へ今度いつ行けるか…恋人に会うような気持ちでその日を楽しみにしている今日この頃…。

(御宿台326-07 渋谷 誠)

◆人生は旅

人生を旅に例える人がいる。出身は群馬県、小学低学年を台湾で過ごし帰国。社会人になり、南米パラグアイで日本向け大豆の買い付け。現地採用でまずブラジルへ。パラグアイは、猿も逃げ出す程遅れている等、さんざんな情報に怖気づきそのままブラジルに居すわった。サントス市・サンパウロ市・リオデジャネイロ市・エスピリットサントス州・ミナス州、ブラジリア市・パラナ州・マツグロソソ州・サンタカタリーナ州、ポリビア、チリ、ペルー、ウルグアイ、インドネシア、モーリシャス島、南アメリカ等で20年。再びブラジルへ行きサンパウロ州アチバイア市に家族で定住。現地の人と全く同じ立場で働き生活した。人種・言語習慣が違う、その違いが大いに刺激があり楽しかった。人種が違うと文化も違う。

最高に楽しかった仕事はサメ捕り、インドネシアでもサメだけを捕った。

旅行は上記以外ずいぶん歩いた。私の様な労働者クラスではどこの国でも友人ができた。食べ物でも不自由はなかった。熱帯、亜熱帯でも、海拔の高い所に住むと夜間は寒かった。今縁あって、御宿台に住んでいる。車の騒音もなく静かで気に入っている。

(127-05 深井 繁和)

やまぼうし

区民の談話サロン

◆近頃思うこと

年々若者のパワーがしぼんでいるように見える。結婚しない人が増え、しても子供をつくらない、今が楽しければよい。これでは日本はますます老いてしまう。「デモをして押しかける位の元気はないのか」と小泉首相。「今の若い者は…」なんて云いたくない。さんざん若い頃云われたことを思い出すからだ。そして「年寄りのくせに分かったことを云って、古いんだよ」と返ってくるから、でも古いこと昔のことを全て否定することが、新しく正しいことと勘違いしている。「お前はあの古いことの延長線上にいるんだぞー」と云ってやりたくなる。

50代に入った時、80の親父に「これから年々歳月が早く流れ60、70はすぐ来てしまうぞ」とハッパをかけられた。本当だった。アツという間に60代。そして今、60代の坂の上に立って初めて分かる事がある。70代になったら、また、面白い風景が眺められるかもしれない。その風景を若い人に伝えてゆきたい。でも伝わるかなあ～

(237-05 清水 義孝)

◆茫茫60年・ニューギニヤ

南方が緊迫の度を増し、大本営は在満部隊、中国戦線の一部兵力を緊急抽出し始めた。部隊は北満を出発、昭和19年5月、人食いが住むと言われる人跡未踏、ニューギニヤに上陸。まもなく補給が止まった。飢餓、マラリヤ、悪疫に責めさいなまれ、生と死の狭間を終戦まで彷徨う。18万人上陸、生還3万人、其のほとんどが餓死。命を呑み人間を呑み尽くした鬼哭啾々死の島である。終戦後、加東大介軍曹一座が巡って来た。入隊前は全員芸人のプロ集団。「南の島に雪が降る」。華麗な芝居に酔いしれ妖艶な女形に魅せられた。芝居が終わる小屋裏を通る。あの美女が禪一丁で芋を食べていた。幻想破れ啞然とする。復員一年前の夢芝居。魔の島に非命で斃れた屍、永久に訪れる人もなく、現住民の歌声と潮騒だけがその霊を慰める。今日も又故郷恋しと慟哭してゐるであろう。

思うと胸が痛む。

(418-14 對馬 要一)

編集 後記

春の訪れと同時に、御宿台集会所の改築工事も間もなく完了となります。コミュニティとしての機能強化や基盤の充実が強く求められるなか、集会所の改築は大きな一歩を踏み出したと言えるでしょう。御宿台行政区として3年目を迎えた今日、御宿台区における定住人口はわずかながら増加しており、平成14年1月1日現在でみると739人ですが、その一方で高齢化率も年々進んでおり、65歳以上人口の占める割合

は54.5%といった現状です。こうした状況下において、コミュニティとしての課題はまだ多く、周辺施設のバリアフリー化をはじめ、生活交通としての重要な役割を担う循環バスの問題など、高齢化社会に対応した生活・福祉環境整備は急務であります。

循環バスの問題については、現在、町と協議を進めているところですが、今後においても、行政との歩みよりの中で積極的な意見提案をし、住民相互の一体感をもって、より充実したコミュニティ社会を構築していきたいものです。
(滝口)

区運営委員会委員

| | | | |
|------|-------|--------|---------|
| 鈴木正也 | 会長 | 210-13 | 68-6961 |
| 滝口義雄 | 渉外 | 103-09 | 68-3661 |
| 加藤一輝 | 広報 | 211-09 | 68-5755 |
| 宮田成隆 | 総務 | 230-07 | 68-7822 |
| 矢作舜二 | 会計 | 238-12 | 68-8677 |
| 水本清司 | 広報・記録 | 313-02 | 68-3115 |
| 小林英軸 | 環境・衛生 | 319-10 | 68-5482 |
| 佐伯光一 | 環境・衛生 | 405-12 | 68-6360 |

御宿台区13年度定例総会の報告

区運営委員会

1 総会の成立

出席者総数389名（出席50名、委任状339名）は会員数610名の63.8%、定足数を大幅に上廻り総会は正式に成立しました。

2 平成13年度の活動報告－主要な問題について

(1) 牛牧場の臭気対策

悪臭が平成13年7月に発生しました。当初は発生源の特定ができませんでしたが、村石牧場からと事実が確認され関係者間で覚え書きを交換しました。町当局も立会人として署名しました。（会報No.6）

大地牧場は農業公社の指導で堆肥設備が完成し、固形糞の処理は解決していましたが、残された分離尿の臭気対策は水に希釈して散布するように町当局の指導をうけております。

(2) 自然環境の維持と保全

公共緑地の町移管協定も締結され、行政、西武、運営委員会共同の緑地手入れが始まりました。本年は御宿台の正面に位置する花壇広場から中央公園の整備に重点がおかれしました。

噴水広場から東屋方面には公民館のさくらを移植（町の寄付）し、花壇広場の植栽の手入れ、草花植え付けと町、西武、区に「自然に親しむ会」がそれぞれの立場で参加しました。

(3) 野鳥の捕獲禁止と保護

御宿台は、めじろ、鶯、ひばりなどの小鳥の繁殖地です。捕獲禁止の立て札を立てて2年近くになりますが、今年は庭先にくる小鳥も増えたようです。町当局も小鳥の保護のため行政指導を一層厳しくしています。

(4) コミュニティの活性化にむけて

(a) 西武フェスティバルに協力

ボランティア45人が協力し町も50万円補助を拠出しました（会報No.6）

(b) 集会所を拡充、機能強化しコミュニティセンターへ

厨房設備に県補助140万円、緊急避難所の役割も果たします。

(c) 巡回バスの存続と利便性向上

7～6月ベースで利用者は12年度3800人、13年度見込み5100人。月ベースで300人から450人に急増しました。

今後の課題は契約価格の引下げ町の補助とコミュニティの協力です。

3 平成14年度の課題

自然環境の維持保全とコミュニティの活性化は依然として継続課題ですが、特に本年度は管理費の収支の明確化と残高の取り扱い、管理協定の問題点の明確化などが重点課題になります。

以上

新運営委員の決定と担当

3月23日の総会で新運営委員が推薦され総会の承認を受けました。引き続き3月27日に開催された運営委員会において運営委員と行政区役員の担当を決定し町当局に推薦名簿を提出しました。なお2年間、総務を担当された稲村敏彦氏は退任されました。

| 氏名 | 住所 | 電話 | 運営委員会 | 行政区 | 備考 |
|------|--------|---------|-------|------|----|
| 滝口義雄 | 103-09 | 68-3661 | 渉外 | — | |
| 鈴木正也 | 210-13 | 68-6961 | 会長 | 区長 | |
| 加藤一輝 | 211-09 | 68-5755 | 広報 | — | |
| 宮田成隆 | 230-07 | 68-7822 | 総務 | 区長代理 | 新任 |
| 矢作舜二 | 238-12 | 68-8677 | 会計 | 衛生委員 | |
| 水本清司 | 313-02 | 68-3115 | 広報・記録 | — | |
| 小林英輔 | 319-10 | 68-5482 | 環境・衛生 | 土木委員 | 新任 |
| 佐伯光一 | 405-12 | 68-6360 | 環境・衛生 | 土木委員 | |

御宿台区平成13年度会計報告

平成14年2月28日現在

| 項目 | | 金額 | 備考 | |
|----|-----------|-----------|-----------------------|--------|
| 収入 | 前年度繰越金 | 508,896 | | |
| | 会費 | 平成12年度分 | 2,000 | 2世帯分 |
| | | 平成13年度分 | 537,000 | 537世帯分 |
| | | 平成13年度分 | 30,000 | ラビドール |
| | | 会費計 | 569,000 | |
| | 広告料収入 | 50,000 | 毎月堂、チャイナ、鶴丸、幸七、竹むら | |
| | 町行政から補助 1 | 198,500 | 事務費補助 | |
| | 町行政から補助 2 | 744,400 | 連絡員手当、防犯灯補助 | |
| | 利息 | 332 | | |
| | 収入合計 | 2,071,128 | | |
| 支出 | 事務費 | 49,689 | | |
| | 通信費 | 161,050 | 総会、御宿台ニュース 配布 | |
| | 印刷費 | 301,140 | 「御宿台ニュース」4回 | |
| | 雑費 | 155,077 | 法律相談料(10万)、フェスティバル反省会 | |
| | 支出合計 | 666,956 | | |
| 残高 | | 1,404,172 | | |

御宿台環境対策協議会
平成13年度会計報告

平成14年2月28日現在

| 項目 | | 金額 | 備考 |
|----|---------|---------|----|
| 収入 | 前年度繰越金 | 435,534 | |
| | 利息 | 352 | |
| | 収入合計 | 435,886 | |
| 支出 | 自然に親しむ会 | 100,000 | |
| | 桜樹移植 | 100,000 | |
| 残高 | | 235,886 | |

監査結果

区会計並びに環境対策協議会会計については、適正に処理されているものと認める。
監査：平井享一氏(102-16)